

東医大発第 205 号
平成 29 年 4 月 28 日

国公立大学長
国公立大学医学部長 殿
関係機関の長

東京医科大学
学長 鈴木 衛
(公印省略)

救急・災害医学分野担当主任教授候補者の再公募について（依頼）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、本学では救急・災害医学分野担当主任教授を再公募することとなりました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴学並びに関係機関に適任の方がおられましたら、ご推薦賜りたくお願い申し上げます。

候補者の方には、選考の過程でご来学の上、面接・ご講演いただく場合がありますので、あらかじめご承知置き下さいますようお願いいたします。

また、本学では任期制を導入しており、任用期間 8 年（再任可）となっておりますことを申し添えます。

謹白

記

- 1 提出書類
 - 1) 履歴書 様式(1)
 - 2) 教育歴 様式(1)-2
 - 3) 業績目録 様式(2)～様式(6)
 - ・別紙記入要領を参照して下さい。
 - ・学術関連広報活動の様式は任意です。
 - 4) 診断・治療件数 (2014 年～2016 年：3 年間) 様式(7)
 - 5) 論文別刷 代表的な論文のうち 10 編の別刷 3 部（コピー可）を添付して下さい。
 - 6) 本分野を担当するにあたり、教育・研究・診療についての実績・方針・抱負を、A4 サイズ横書きで 1,200 字以内（ワープロ）にまとめてご提出下さい。
 - 7) 推薦書がございましたらご提出下さい。

- 2 提出期限 平成 29 年 6 月 15 日（木）【必着】

- 3 提出先・提出様式の請求先
〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1
東京医科大学 人事課
電話 03-3351-6141（内線 376）

※ 東京医科大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。ただし、これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

以上

「履歴書」・「業績目録」の記入要領

＜履歴書＞

履歴書について……様式(1)

- 1) 西暦年で記入しワープロ等で印字して下さい。各項目が網羅されていれば枠の広さ等は自由です。
- 2) 性別は、男女の別を○で囲んで下さい。
年齢は、履歴書作成日現在の満年齢を記入して下さい。
- 3) 学歴欄には高等学校卒業以降（大学院の場合は単位取得、学位を有しない場合は退学まで）のすべての学歴を記入して下さい。
- 4) 免許欄には医師・歯科医師等業務に関連する免許証登録番号及び登録年月を記入して下さい。
- 5) 学位欄には学位名、取得大学名、学位番号及び取得年月を記入して下さい。
- 6) 職歴・研究歴欄には、職歴と研究歴のすべて（国外留学、国内留学を含む）を順次記入して下さい。
- 7) 賞罰欄には、大学、学会、医学団体等からの受賞（学術奨励賞、研究奨励賞）その受賞年月も記入して下さい。
- 8) 主たる所属学会及び役員欄には、現在所属している学会名、現職の役職等を記入して下さい。
(例) ○○学会会員、評議員、理事
国外における所属学会(国際学会含)で active member は証明書を添付して下さい。
- 9) 主たる学会認定医・専門医等欄には、日本医学会に含まれる各学会で取得した認定医、専門医などを記入しそれぞれ取得番号を付して下さい。
- 10) その他欄には社会における活動、行政機関から委託された委員会及び役職名等を記入して下さい。
- 11) 教育歴のある方は、今年度受持授業時間のほか、教育業績、学内外の教育関連の役職、FDやワークショップ等の参加歴等、また臨床系医師の方は、医療安全研修会の参加歴を併せて様式(1)－2に記入して下さい。

＜業績目録＞

業績目録は、別記様式を遵守し、Ⅰ) 著書、Ⅱ) 学術論文(原著、総説、症例報告、その他の学術論文)、Ⅲ) 学術刊行物(研究報告、その他の学術刊行物)、Ⅳ) 学会及び研究会発表(a. 国際学会、b. 国内学会、地方会及び研究会)、Ⅴ) 受領した競争的研究助成金、Ⅵ) 学術関連広報活動及びその他、Ⅶ) 診断・治療件数に分類し、それぞれ別葉とします。各様式の(注)にならい、最近の年次から順に西暦年で記入し、ワープロ等で印字して下さい。記入方法について特に指定のない場合は、すべて記入して下さい。各項目順に枠を設けてもかまいません。

Ⅰ) 著書について……様式(2)

単行本、叢書、また分担執筆(辞書、全集なども含む。)、翻訳、編集及び監修等を記入して下さい。分担執筆は、分担題名を記入し、頁はその該当する頁のみを記入して下さい。(同一著書内での複数項目の分担は合わせて一編とし、2項目からは分担題名、頁のみ記入)

Ⅱ) 学術論文について……様式(3)

①原著、②総説、③症例報告、④その他の学術論文別に記入して下さい。

①原著：学術誌に掲載された独創的な内容の学術論文で、他の学術誌に掲載されていないもの

②総説：展望などを含み学術誌に掲載されたもの

③症例報告：学術誌に掲載された症例報告

④その他の学術論文：短報、レター、図説、臨床治験及びプロシーディング等で学術誌に掲載された論文

※ なお、ここでいう学術誌とは Index medicus、Science Citation Index あるいは医学中央雑誌に登録されているか、レフェリーシステムを有する権威ある学術雑誌(商業誌を含む。)です。

共同執筆者は筆頭者より3名以内とします。但し、本人が該当しない場合のみ4人目に本人の氏名を記載しアンダーラインを引いて下さい。

投稿中の論文は記入しないで下さい。(印刷中のものは認めますが、掲載証明の添付を要します。)

※ 「区分」欄 … 学術論文でのあなたの役割を次にならって記入して下さい。

第1筆者(1st author)の場合 1

第2筆者(2nd author)の場合 2

最終筆者(Last author)の場合 L

コレスポンディング・オーサー

(Corresponding author)の場合 C

コレスポンディング・オーサーとその他の上記役割が重複する場合は、併記して下さい。なお、コレスポンディング・オーサーについては、上記と重複しない場合のみ、それを証明するもの(該当論文中のコレスポンディング・オーサーであることがわかる頁のコピー等)を添付して下さい。証明するものがない場合には、該当論

文の筆頭者と最終筆者の証明（様式任意）を作成下さい。

その他

空欄

※「発表誌名」…英文論文の場合は最後に直近のインパクトファクターを記入して下さい。

(記入例) 発表誌名, 発表年, 巻: 初頁～終頁, I F ○○, ○○○

Ⅲ) 学術刊行物について(レフェリーシステムの有無を問いません。)……様式(4)

①研究報告、②その他の学術刊行物別に記入して下さい。

①研究報告: 公的機関刊行物、またはこれに準ずる各種学術団体及び委託研究の成果報告で、論文形式(はじめに、方法、結果…)を整えたもの(前述Ⅱ)の④以外のプロシーディングを含む。)

②その他の学術刊行物: 教育、解説及び医学講座、ガイドライン等

共同執筆者の記入方法については、Ⅱ)の共同執筆者の記入方法と同様とします。

Ⅳ) 学会及び研究会発表について……様式(5)a及びb

a 国際学会、b 国内学会、地方会及び研究会別に用紙を分け、さらに①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等、②一般演題及びポスター発表等、③共催セミナー等に分類し記入して下さい。共同発表者の記入方法については、Ⅱ)の共同執筆者の記入方法に準じます。20編以上ある場合は、代表する20編を記入し、最後にその他何編と記入して下さい。

Ⅴ) 受領した競争的研究助成金について……様式(6)

年度、研究費の名称、題名、代表または分担について記入して下さい。

Ⅵ) 学術関連広報活動及びその他

学術関連広報活動は、マスメディア、セミナー及び年報など業績として記録しておくにふさわしい活動を記入して下さい。

※ 所定用紙はありませんので、自由に作成して下さい。

Ⅶ) 診断・治療件数について……様式(7)

2014年1月から2016年12月までに携わった診断・治療件数を記入して下さい。

※ 実績例数の記載は、指導的立場での関与を含みます。

※ 当該期間中に所属機関の変更がある場合は、機関毎に用紙を分けて記入して下さい。

1. 履 歴 書 （記入例）

（すべて西暦にてご記入下さい）

年 月 日現在

ふりがな 氏 名	男・女 印		本 籍 地 もしくは国籍	東 京 (都)道・府・県	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)		電 話	自 宅	勤務先
現 職 名	◎◎ 大学 講師 ○○科学講座		F A X		
			e-mail		
学 歴 高校卒業以降を 記入すること	年 月	○○○ 高等学校 卒業 ○○○ 大 学 ○○学部 入学 単科大学の場合学部は不要 ○○○ 同 上 卒業 ○○○ 大学大学院医学研究科 ○○○ 学専攻博士課程 入学 ○○○ 同 上 単位取得 ○○○ 同 上 退学			
免 許 等	年 月	免許証 (第 号)			
学 位	年 月	博 士 () (大学 第 号)			
職 歴 ・ 研 究 歴 (外国留学も含む)		○○ 大学病院 ○○科学講座臨床研修医として勤務 ○○ 病院 ○○医員として出張 同上出張中に臨床研究医 同上から帰任し臨床研究医として ○○科学講座勤務 ○○ 大学◎◎病院 ○○科臨床研究医として異動 同上から異動し臨床研究医として ○○科学講座勤務 ○○ 大学 助手 ○○科学講座勤務 ○○ 病院 ○○医長として派遣 同上から帰任し助手として○○科学講座勤務 ○○ 大学◎◎病院 ○○科助手として異動 同上から異動し助手として○○科学講座勤務 同上退職 △△ 大学 助 手 ○○講座教室 勤務 ○○国 ○○大学へ○○○○研究のため留学 同上から帰国し助手として○○科学講座勤務 同上退職 ◎◎ 大学 講 師 ○○科学講座勤務し現在に至る			
賞 罰	年 月				
主たる所属学会 及 び 役 員	日本○○学会会員				
主たる学会認定医 専 門 医 等	日本○○学会認定医 (第○○号)				
そ の 他					

1. 履 歴 書

年 月 日現在

ふりがな 氏 名	男・女 印		本 籍 地 もしくは国籍	都・道・府・県	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)		電 話	自 宅	勤務先
現 職 名			F A X		
			e-mail		
学 歴 高校卒業以降を 記入すること	年 月				
免 許 等	年 月	免許証 (第 号)			
学 位	年 月	博 士 () (大学 第 号)			
職 歴 ・ 研 究 歴 (外国留学も含む)					
賞 罰	年 月				
主たる所属学会 及 び 役 員					
主たる学会認定医 専 門 医 等					
そ の 他					

1-2. 教育歴

氏 名 _____

① 今年度受持授業時間 _____ 時間

② 教育業績、学内外の教育関連の役職、FD や教育ワークショップ等の参加歴等、また、臨床系医師は、医療安全研修会の参加歴等

(例) 1., 2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日, 東京医科大学第 3 学年臨床講義(〇〇)

2., 2012 年〇月〇日～2012 年〇月〇日, 第〇回東京医科大学医学教育アドバンスワークショップ

(注)

1. No., 年月日(期間), 教育業績、学内外の教育関連の役職、FD・教育ワークショップ等の参加歴等, 備考の順に、古いものから年代順に記入して下さい。

また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

業 績 目 録

(2) _____

2. 著書

氏 名 _____

(例) 1.,新宿太郎,東京花子,リンパ節,臨床研修医のための〇〇, Okubo S, 〇〇出版社, 2012,18-21

(注)

1. No., 著者名, 分担題名(単著の場合不要), 著書名, 編者又は監修者, 発行所又は出版社, 発行年, 頁の順に、新しいものから年代順に記入して下さい。

また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

3. 学術論文(原著・総説・症例報告・その他)

氏 名 _____

(例) ①原著

1.,Shinjuku T,Tokyo H, 1, The Cell of ○○…activity., J.Cell Biol., 2013, 18:45-47, IF:9.575

③症例報告

1.,新宿太郎,大久保三郎,東医次郎,東京花子, ○○で発症した○○の一例, 東医大誌, 2013, in Press

(注)

1. ①原著、②総説、③症例報告、④その他の学術論文別に番号を付して、新しいものから年代順に記入して下さい。
2. No., 執筆者氏名(共同執筆の場合は、筆頭者より 3 名以内。但し本人が該当しない場合のみ 4 人目にアンダーラインを引き記載), 区分, 論文題目, 発表誌名, 発表年, 巻: 初頁～終頁, インパクトファクター (IF) の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

(4) _____

4. 学術刊行物

氏 名 _____

(例) ②その他の学術刊行物

1.,東京花子,東医次郎, ○○の予防と○○, 月刊○○医学, 2013, 52:152-160

(注)

1. ①研究報告、②その他の学術刊行物別に番号を付し、新しいものから年代順に記入して下さい。
2. No., 発表者氏名(共同発表の場合は、筆頭者より 3 名以内。但し本人が該当しない場合のみ 4 人目にアンダーラインを引き記載), 論文題目, 発表誌名, 発表年, 巻: 初頁～終頁の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

(5)a _____

5-a. 国際学会

氏 名 _____

- ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等
- ②一般演題及びポスター発表等
- ③共催セミナー等

(例) ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等

1., Tokyo H, Shinjuku T, Signal transduction of...differentiation., 7th American Society of○○
(Symposium), 2011.5

(注)

- 1. ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等、②一般演題及びポスター発表等、③共催セミナー等別に、代表する 20 編を新しいものから年代順に記入して下さい。
- 2. No., 発表者氏名(共同発表の場合は、筆頭者より 3 名以内。但し本人が該当しない場合のみ 4 人目にアンダーラインを引き記載)、演題名、発表機関(学会名)、発表年月の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

(5)b _____

5-b. 国内学会、地方会及び研究会

氏 名 _____

- ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等
- ②一般演題及びポスター発表等
- ③共催セミナー等

(例) ②一般演題及びポスター発表等

1.,大久保三郎,東京花子,東医次郎, ○○の役割の解明と検討, 第8回日本○○学会学術集会, 2013.4

(注)

1. ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等、②一般演題及びポスター発表等、③共催セミナー等別に、代表する20編を新しいものから年代順に記入して下さい。
2. No., 発表者氏名(共同発表の場合は、筆頭者より3名以内。但し本人が該当しない場合のみ4人目にアンダーラインを引き記載), 演題名, 発表機関(学会名), 発表年月の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

(6) _____

6. 受領した競争的研究助成金

氏 名 _____

(例) 1., 2013 年度, 科学研究費補助金基盤研究(B), ○○を用いた新規治療法の開発, 分担

(注)

1. No., 年度, 研究費の名称, 補助を受けた研究題名, 代表者若しくは分担者の別を、新しいものから年代順に記入して下さい。

また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

7-1. 診断・治療件数（救急・災害医学分野）

氏 名

診断・治療件数(2014年1月～2016年12月)

診断・治療	診療科の総件数	担当者、または指導者としての経験数
1. 内因性疾患		
神経系疾患		
心血管系疾患		
呼吸器系疾患		
消化器系疾患		
重症感染症・DIC・敗血症		
その他の内因性疾患		
2. 外傷		
多発外傷		
頭部外傷		
顔面頸部外傷		
胸部外傷		
腹部外傷		
四肢・脊椎・骨盤外傷		
その他の外傷		
3. 急性中毒		
4. 熱傷		
5. 検査		
放射線診断		
内視鏡検査		
その他の検査		
6. 手術		
開頭術		
開胸術		
開腹術		
四肢・脊椎・骨盤の手術		
その他の手術		
7. 集中治療		
補助循環		
血液浄化法		
人工呼吸		

診断・治療	診療科の総件数	担当者、または指導者としての経験数
その他		
合計		

※本表以外の診断・治療を記載する場合は、その他の欄に適宜行を追加して作成してください。

7-2. マネージメント

①臨床

救急部門の運営、救急体制の構築、脳死判定・移植医療、災害医療等に関する自らの関わりを記載してください。500文字以内

②教育

医師の卒前教育・卒後教育やコメディカル・救急救命士の指導等に関する自らの関わりを記載してください。500文字以内